冒険の手引き

(ぼうけん　てびき)

イースIII
ワンダラーズ フロム イース

VFR-Q8-12
HIS MASTER'S VOICE Victor

この度は「イースIII　ワンダラーズフロムイース」をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。ゲームをスタートする前に、この「冒険の手引き」をよくお読みいただき、正しい使用法で、楽しくお遊びください。

守ってほしい注意事項

❶ 精密機器ですので、極端な温度条件下での使用や保管および、強いショックを避けてください。
❷ 端子部分に手を触れたり、水にぬらすなど絶対によごさないでください。
❸ シンナー、ベンジン、アルコール類の揮発油では、ふかないでください。
❹ カセット交換の際、必ず電源をお切りください。
❺ 健康のためテレビ画面からできるだけ離れてプレイしてください。また、長時間ゲームをするときは、休憩をとるようにしましょう。
❻ ご使用後はACアダプタをコンセントから必ず抜いておいてください。

メモリーバックアップ機能付カセット取扱注意

このカセット内部には、ゲームの途中経過などをメモリ（記憶）しておくバックアップ機能があります。電源を切るときは、ファミコン本体のリセットボタンを押しながら、電源スイッチをOFFにしてください。

なお、下記の注意をしっかりとお守りください。

1．本体の電源を入れたままで、カセットを抜き差ししない。
2．むやみに電源スイッチをON、OFFしない。

もくじ

■ストーリー

山岳地帯を越えて海の近くにあるレドモントの街へ続く街道は、人通りの少ない割によく整備されていた。道幅が広く起伏もあまりないうえに、小高い山々の尾根にそって切り開かれているので見晴らしも良く、空が晴れ渡るときには幾重にも連なっている山々の向こうで輝いている青い海を眺めることもできた。

二人の旅人が木陰で体を休めていた。微かに吹く風が青年の髪を揺らしている。彼こそ、後の世に偉大な冒険家として名を残すことになる、アドル=クリスティンだった。たくましい体つきの連れの男は、アドルよりも年上のようだ。男は元盗賊のドギだった。今、二人はドギの故郷“レドモント”を目指すきっかけとなったあの出来事を思い出していた。

今から3カ月ほど前、隊商の一団が二人の滞在していた町にやってきた。隊商たちの異国での話を聞こうと集まった人々を前に、彼らは愚痴をこぼし始めた。

「この町に来る前にフェルガナという地方を通っ

てきたんだ。だが、そこじゃ少しも商売にならなかったよ」
原因のはっきりしない異常気象や病気、穀物や作物の凶作、それによる物価高がフェルガナ地方を襲っているという。

　その夜、アドルはドギからフェルガナ地方のレドモントが彼の生まれ故郷であること、10年前に出たきり１度も帰ってないことを打ち明けられた。そして二人はレドモントに向かう決心をしたのだった。

　翌日、静まり返った森を歩いていると、道の前方に異変を感じた。獣のうなり声、助けを呼ぶ男の叫び声、激しく格闘しているらしい物音などが一緒になって二人の耳に飛び込んできた。二人は剣を抜くと、音のする方へ走りだした。獣は、すばやく身をひるがえし森の中へと消えていった。助けられた男は、幸い軽い怪我だけのようだ。じっと男の顔を見つめていたドギが声をかけた。

「おまえはロアルドじゃないか？」

男は目を開け、「ドギ！本当にドギなのか？」

驚きに満ちた声をあげた。ロアルドは、ドギの幼なじみで現在はアーグの街にある宿屋で働いているのだと語った。

三人がアーグの街に着いたのは、空が暗くなり始めていたころだった。その晩アドルとドギは、宿屋の主人の好意でそこへ泊まることになった。元気を取り戻したロアルドや、アドルたちの話を聞きつけてやってきた住民たちは、口々に異変を語った。最近おとなしかった生き物たちが人々を襲うようになったこと、行方不明になる人が増えたこと、火山が突然噴火したことなど次々と起こる災難のことを不安を隠しきれない様子で話した。

翌朝、宿を後にした二人は、漂浪民の一行と出会った。彼らの占いが良く当たるという評判を耳にしていたアドルたちは、街を襲っている災いについて占ってもらうことにした。占い師の女は、水晶球の中に何かを見つけ、ぶるぶると震えだした。すると、突然、球は音をたてて粉々に砕け散った。女は意識を取り戻したが、水晶球の中に見たものについては何一つ語ろうとしない。そ

して、漂浪民族の言葉で仲間に何かささやくと、逃げるようにその場を立ち去って行った。アドルとドギには理解できない言葉だったが、ただ一言だけが耳について離れなかった……　『ガルバラン』。それは、初めて聞いたにもかかわらず、不吉で邪悪なものを感じさせる響きがあった。

　漂浪民と別れてから、どれくらい歩いたであろうか。先を進んでいたドギが足を止め、前方を指さしながら言った。

「やっと見えてきたぜ、アドル。あれがレドモントだ。美しい街だろう」

アドルは黙ってうなずいたまま街を見つめ続けた。確かに美しい風景だった。しかし、それだけではなかった。アドルには予感がした。何かが待ち受けているという・・・

「あと少しだ。行こう」

ドギは前よりも早足で歩き始めた。アドルは、まとわりつくような予感を振り払うと、急いでドギの後を追った。

それが、アドルの新しい冒険の始まりだった。

スタート方法 ―ゲームをはじめる―

●はじめて冒険に出る

ファミコン本体にカセットを差込み、電源を入れるとオープニングが始まります。オープニング中に スタート ボタンを押すとタイトル画面になり、もう１度 スタート ボタンを押すとゲームがスタートします。

●きろくしたところから冒険を続ける

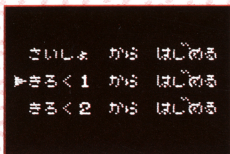
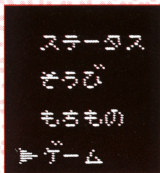
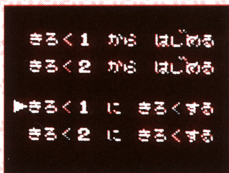
以前に冒険をきろくしたところから始めるときは、オープニング中に スタート ボタンを押すとタイトル画面になり、もう１度 スタート ボタンを押すと写真の画面に変わります。ここで、✚キーで▶を続きをやりたいきろくに合わせ、スタート ボタンを押してください。

さいしょ　から　はじめる
▶きろく１　から　はじめる
きろく２　から　はじめる

セーブ/ロード

●冒険をきろくする（セーブ）

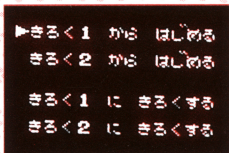
きろく1　から　はじめる
きろく2　から　はじめる
▶きろく1　に　きろくする
きろく2　に　きろくする

ステータス
そうび
もちもの
▶ゲーム

ゲーム中、現在の状態をきろく（セーブ）しておきたいときには、次の操作できろくをします。まず［セレクト］ボタンを押すと、セレクトウィンドウが出ます。次に✚キーで▶を「ゲーム」というところに合わせ、Ⓐボタンを押すとセーブ／ロード画面になります。ここで、▶をきろくしたいほうに合わせ、もう一度Ⓐボタンを押すときろくされます。きろくは、「きろく1」と「きろく2」の2つにできます。

●きろくしたところからはじめる（ロード）

ゲーム中、きろくしたところからはじめたい場合は、きろくをするときと同じ操作で画面を呼び出し、自分のはじめたいきろくのところに▶を合わせⒶボタンを押してください。

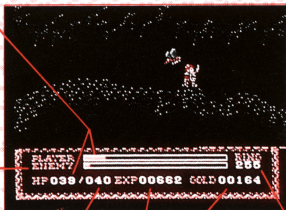
▶きろく1　から　はじめる
きろく2　から　はじめる
きろく1　に　きろくする
きろく2　に　きろくする

■画面説明

1.通常画面

現在のHit.Point（キャラクターのレベルアップで増える。0になると死んでしまう）

戦っているモンスターの生命力

現在のMax.Hit Point（生命力の上限）

所持金

経験値

リングパワー（これが0になるとリングを装備しても効果はない）

●H.Pの回復

H.Pは町と各ステージの入口部分（最終ステージを除く）で、自然に回復します。その他の場所では自然に回復することはありません。薬草を使うと、どんなところでもH.Pの最大値まで一気に回復することができます。また、ヒールリングがあれば、どんなところでもH.Pを回復することができますが、そのときにはリングパワーが必要です。

●リングパワーの回復

リングパワーはブロシアの秘薬を使うことによって回復することができます。また、敵を倒すことによっても回復します。（1匹につき1ポイント）

アイテムショップでGOLDを払えば、一気に最大値まで回復してもらえます。（料金100GOLDが必要）

●レベルアップ

一定のEXP（経験値）を得た時、キャラクターはレベルアップします。最高レベルは12です。

●EXP（経験値）とGOLD（所持金）

戦闘によってのみ得ることができます。

2.ステータス画面

［セレクト］ボタンを押してセレクトウィンドウを出し、▶を「ステータス」に合わせⒶボタンを押すと、ステータス画面を見ることができます。Ⓑボタンを押すともとの画面にもどります。

LEVEL……現在のレベル
HP……Hit Point
STR……攻撃力
DEF……防御力
GOLD……所持金
EXP……経験値
NEXT EXP……次のレベルアップに必要な経験値

3.そうび画面

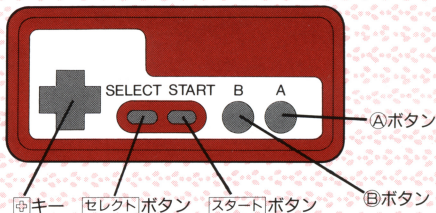
セレクトボタンを押してセレクトウィンドウを出し、▶を「そうび」に合わせⒶボタンを押すと、そうび画面を見ることができます。Ⓑボタンを押すともとの画面にもどります。

そうび画面にあるものは、選んで装備することができます。装備したいものを✚キーで選び、□で囲んでください。ITEM（アイテム）は、装備した後にもとの画面にもどり、スタートボタンを押すと使うことができます（装備するだけで効果があるアイテムも一つだけあります）。

4.もちもの画面

セレクトボタンを押してセレクトウィンドウを出し、▶を「もちもの」に合わせⒶボタンを押すと、もちもの画面を見ることができます。Ⓑボタンを押すともとの画面にもどります。

もちもの画面は、現在持っているもちものを表示します。持っているだけで自動的に使用することができます。

■コントローラーの使い方

●通常画面時

✚キー	上、下、左、右でプレイヤーの移動
Ⓐボタン	ジャンプ
Ⓑボタン	剣を振る
スタートボタン	装備したアイテムを使用する
セレクトボタン	セレクトウィンドウの表示

●セレクトウィンドウ表示時

✚キー	上、下で▶を移動
Ⓐボタン	決定
Ⓑボタン	画面のキャンセル
スタートボタン／セレクトボタン	未使用

■会話、戦闘など

会話

話したい相手の横に立ち、Ⓑボタンを押すと会話をすることができます。人によっては自分の方から話かけてくることもあります。また、特別な場所で何かメッセージが出ることもあります。

デカキャラとの戦闘

デカキャラに遭遇した場合、このゲームではその場所から逃れることができます（ただし、ゲーム後半では逃げられない場合もあります）。デカキャラとの戦闘時でも武器、防具の装備やアイテムの選択、使用をすることができます。ただし、ロード、セーブはできません。

宝箱、扉の開け方

宝箱、扉は、その前に立って✚キーの上を押すと開けるこ

とができます。宝箱に鍵は必要ありませんが、扉には鍵がかかっているものもあります。その扉にあう鍵を捜しましょう。また、条件がそろわないと開かない扉もあります。

階段の上り下り

階段の上り口では✚キーの上を、下り口では下を押すと、階段の上り下りができます。

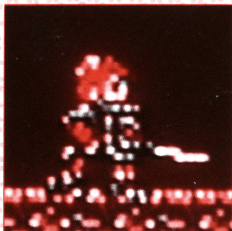
リング

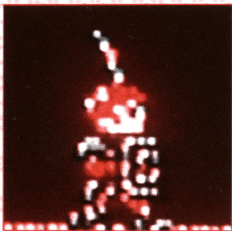
リングは全部で5種類あります。装備することによって、自動的に使用されます。パワー・リング、シールド・リング、タイマー・リング、プロテクト・リングは、装備したときからリングパワーが消費されていきます。ヒール・リングは、キャラクターがダメージを受け、リングの効果が発揮されている間（H・Pが回復している間）リングパワーが消費されます。

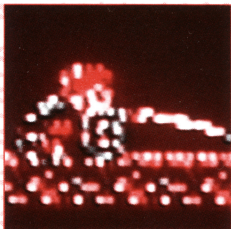
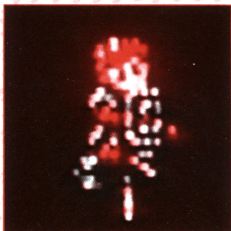
店

店に入り、主人のところへ行くとウィンドウがでます。買いたい品物や、したいことのところに✚キーで▶を合わせⒶボタンを押してください。また、話のみの時は、Ⓑボタンを押して話の続きを聞いてください。

■戦闘のテクニック

モンスターを剣で切りつけて戦闘します。モンスターはそれぞれ独自の動き、攻撃方法を持っています。それを上手に見極め、テクニックを駆使して戦ってください。

①基本パターン

Ⓑ ボタン

②上突き

✚キーの上＋ Ⓑ ボタン

③しゃがみ突き
✚キーの下＋Ⓑボタン

④下突き
✚キーの下＋Ⓐボタン
＋Ⓑボタン

★①～④に、✚キーの左右を付け加えると、移動しながらの攻撃ができます。
★タイミングが必要なテクニックもあります。しっかり練習しましょう。
★深く切るほど敵に与えるダメージは大きくなります。
★下突きは、最も大きいダメージを与えられます。

■冒険への助言

●人の話はよく聞こう

町の人々は思わぬ情報を知っています。きっとあなたに冒険のヒントを与えてくれることでしょう。

●困っている人を助けてあげよう

町には悩みをかかえたり、困っている人々がいます。そんな人たちを助けることによって自分自身も成長を遂げるはずです。

●自分のレベルに応じた冒険を

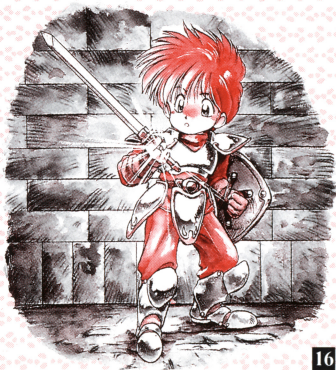
町から一歩外に出れば、たくさんのモンスターがいます。目的を果たすためには勇敢に戦って行かなくてはなりませんが、まだ自分の力が弱いうちに強いモンスターと戦うと、当然モンスターの餌食にされてしまいます。強力なモンスターのいる場所に行くには、いい武器やいい防具も持って行かなければなりません。ただ、レベルが高くなったのに、いつまでも弱いものいじめばかりしていても経験値はあまりもらえませんよ。

●迷ったときにはマッピング

複雑な構造をした坑道や建物内では、方向オンチの

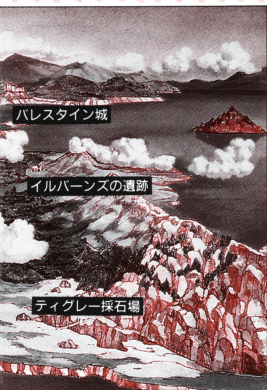
人はきっと迷子になってしまうことでしょう。そんな時は、こまめにマッピングすると便利。再びそこに行かなければならなくなった時に、また迷うこともありません。

●開かない扉に出会ったら

扉には、鍵がかかっているものがあります。扉にぶつかっても開かないときは、まだなにかやってないことがあるのです。今までの自分の冒険や人々から聞いた話をよく思い出してみましょう。

■エリア・ガイド

●**レドモントの街**　ゲームのスタート地点。フェルガナ地方において最も大きい鉱山と貿易の街として有名。

●**ティグレー採石場**　坑道は地下深く伸びており、途中で二またに分かれているが、左半分は固く封鎖されている。

●**イルバーンズの遺跡**　周辺の人々にとっては、立ち入るべきではない禁断の土地。現在でも遺跡の全貌は明らかになっていない。

●冒険が進むにつれて行けるエリアが広がっていきます。はじめからすべてのエリアに行けるわけではありません。
●移動は、✥キーの左右でおこないます。

●**エルダーム山脈** 昔から「魔の山」とよばれてきた。ちゃんとした装備をして行かないと凍傷や凍死をまぬがれることはできない。
●**バレスタイン城** かなり古い石造りの建物で、中は迷宮のように複雑になっている。あちこちに罠も仕掛けてあるらしい。

■登場人物紹介

◆アドル=クリスティン

イースの国を救った後、再び旅に出る。ある日、ふと耳にした話がもとでフェルガナ地方にやってきた。

◆ドギ

アドルと一緒に旅をしている元盗賊。怪力を誇る。レドモンドは彼の故郷である。

◆エレナ

レドモントに住む少女。家を出て行った兄の事を心配している。

◆チェスター

ドギの子供の頃の遊び仲間。マクガイア王に仕えて、彼の計画に手を貸している。

◆マクガイア王

バレスタイン城の城主。周囲の評判は良くない。何か恐ろしいことを計画しているらしい。

■主要アイテム

●薬草

フェルガナ地方の辺境地帯で採取される薬草。強力な治療効果があり、服用すると一瞬にして傷が治り、力がみなぎってくる。

●幻影の鏡

この鏡を使うと時の流れがねじまがり、邪悪なものの動きを止めることができる。しかし、使いすぎると割れてしまうので注意が必要。

●精霊の首飾り

非常に高価で貴重なもの。不思議な力を秘めている。精霊によって作られるものだと言われているが、謎につつまれている。

●パワー・リング

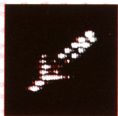
装備した者に本来の２倍の力を与える。

●シールド・リング

装備した者の体や防具に作用し、本来の２倍防御力を与える。敵から受けるダメージが半分になる。

●ヒール・リング

身につけた者を聖なる力で守り、失った生命力を回復してくれる。

■武器、防具リスト

●ショートソード

軽量で扱いやすい短剣。初心者向けの剣といえるが、その殺傷能力は小さい。

●ロングソード

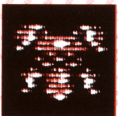
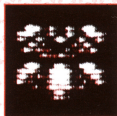
約1メートルの長さの長剣。かなりの力の持ち主でないと振り回すのは難しい。現在、レドモントの武器屋では品切れ中。

●ブロードソード

混ざり気の無い純鉄で作られた幅広の剣。使いこなすには技術がいるが、その破壊力は保証付きである。

●レザーアーマー

馬の革を何枚も重ねて縫い合わせた鎧。軽くて動きやすいが、モンスターたちの牙や爪の前にはあまり役に立ちそうもない。

●チェインメイル

細かい鉄の鎖を何本も組み合わせた鎧。防御力もほどほどにあり、軽く、通気性もよいので一般向けといえる。

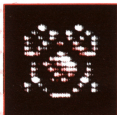
●プレートメイル

鉄で作られた頑丈な鎧。重いのが難点だが、防御力はかなりのものである。レドモントの武器屋では品切れ中。

●ウッドシールド

木で作られた粗末な盾。初心者向けだが、あまり激しい戦闘には耐えられそうもない。

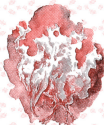
●スモールシールド

合金製の小ぶりの盾。レドモントの武器屋では品切れ中。

●ラージシールド

鉄で作られた盾。かなり重いが使いこなせば強い味方となってくれる。

■モンスター紹介

ケイロン

翼を広げると2m近くにもなる巨大なコウモリ。

ラデル

くすんだ紫色の肌を持つ小鬼の一族。

バール

かなりの知能があり、わずかな空気の振動も感じる。

ファズル

昼行性のふくろう。非常に視力がよい。

ケルツァール

炎の鳥の姿をした火の精。

アルメンガー

堅い殻に背中を包まれた巨大なアルマジロの怪物。

ジゲル

山の洞窟内に住む大型の蜂の一種。

ガーリウム

小鬼の一種族で、並外れた視力を誇る弓の名手。

エスタリオン

人間の魂が封じ込められた鎧。中身は全くのからっぽ。

デト

なめくじとスライムの合いの子のような種族。

■どうしても先に進めない

●人の話はよく聞きましょう。ナゾを解くヒントが必ず隠されています。

●アイテムには、

1. 装備するだけで効果のあるもの
2. 装備して使用する（スタート ボタンを押す）と効果のあるものがあります。
使い方のヒントは会話の中にあります。

●なかなか先に進めないときは、

1. 必要なアイテムをまだ手に入れていない
2. レベルが、まだ先に進めるレベルに達していない。
3. まだ話をしなければならない人がいる等が考えられます。もう一度じっくりこれまでのストーリー、通った所をおさらいしてみましょう。

イースIII 質問券

イースIII 質問券

人への助言

●複雑な地形、建物のところでは、できるだけマッピングしましょう。

●メンドウですが、きろく(セーブ)はこまめにしましょう。結局、これがゲームクリアへの早道となります。

どうしても わからないことがあったら …………質問のしかた

どうしても先に進めないで困っている人は、質問券と、返信用封筒(自分の住所、名前を書いて62円切手をはったもの)を同封のうえ、くわしい質問内容を書いて郵送してください。特別にヒントを教えてあげます。ハガキではダメだよ。

宛先　〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-8-16
ビクター音楽産業株式会社
「イースIII」ヒント係

好評発売中　ファミコン版

「イース」

「イースII」

発売元：ビクター音楽産業株式会社
〒151 東京都渋谷区千駄ヶ谷2-8-16